

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】④ 校務DX

デジタル採点の導入

採点支援ソフトを導入し、採点業務の時間削減につなげた。実際に測定したところ、4時間かかっていた採点業務を2時間で終わることができた。また、採点した答案は学習支援ソフトを用いてデータで返却することで印刷の手間を省き、用紙の節約につなげた。

採点画面の一例

クラウドの活用

- ・ 職員朝礼や職員会議の資料等はMicrosoft Teamsで配付し、各職員のタブレット端末等で閲覧するようにした。このことにより資料の印刷や配付の手間を省き、業務改善につながっている。
- ・ アンケートフォームを積極的に活用し、各行事の反省や学校評価の回答をフォームで送信するようにした。これにより取りまとめが容易になった。また、生徒の学習時間調査や進路志望調査もフォームで回答させ、取りまとめるためのエクセルファイルを用意することで集計を自動化した。職員による入力の手間を省き、負担を大きく減らすことができた。